

清和文楽の里協会 定期公演 700円引き ・1,700円→1,000円に ・1枚で1会計まで ・チケット購入時に クーポン提示 令和7年7月31日まで有効	司法書士・土地家屋調査士・行政書士 田上彰事務所 ☎72-2742 30分まで 相談料無料 一人で悩まないでご相談ください ・相談は要予約 ・1枚で1回まで ・入店時にクーポン提示 令和7年7月31日まで有効	一般社団法人 コンパス・ラボ ☎090-2500-4882 初回限定1名1泊 特別価格3,300円 ・民泊（芦田屋） ・クーポン1枚で1グループ（最大7名まで） ・事前要予約（お電話にてご相談ください） ・入店時にクーポン提示 令和7年7月31日まで有効	クーポン券 掲載募集中!! 広報やまとでは、住民サービスの向上と地域経済の活性化を目的とした「クーポン券」制度に賛同いただける町内の事業所を募集しています。 お問合せは、企画政策課（☎72-1214）までご連絡ください。
---	--	---	--

山都警察署・署協議会だより

熊本県警察からのお知らせ



防災意識の啓発

1 災害への備えは大丈夫ですか？

(1) 災害から「命」を守るために

近年、全国的に豪雨や台風による大規模災害が相次いで発生しており、昨年も全国各地で大雨や台風の土砂等により、大きな被害をもたらしました。水害でも大雨等の影響により、死者や住家被害が発生するなど、国民生活に大きな影響をもたらしました。

このような状況の中、令和6年1月に発生した能登半島地震では、多数の死傷者・住家被害が発生し、1年以上が経過した現在でも復興は道半ばであり、ひとたび大規模災害が発生すれば生活への影響が長期化することが予想されます。

また、昨年8月には南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が初めて発表され、南海トラフ地震の発生が高まる中で災害への備えはより必要性を増しています。

これまで災害による被害が少なかった地域でも、予想以上の降雨や地震等により災害が発生する可能性がありますことから、常日頃から、食料、生活用品等の準備や避難計画を確認するなど、起こりうる災害に備えることが大切です。

(2) 予想される風水害

ア 河川の氾濫・決水

川幅の狭い河川では、急激に増水し、河川が氾濫する可能性があります。

また、下流域が小川であっても、上流域で大雨が降っている場合には、下流域で急激に増水する可能性があります。

イ 冠水

アンダーパス（地下道等）での冠水では、入口付近では水浸が浅くても、内部に進むにつれ、深くなっている場合があります。少しでも冠水している場合は、無理に進行せず、安全な道路を迂回しましょう。

また、水浸が浅くても水が流れている場合、車くのが大変な上、視認性も悪いので、水路や車のとれたマンホールに気づきにくいといった危険があります。

ウ 土砂崩れ・土石流

降った雨が大量に土壌に含まれると土砂崩れや土石流が発生する可能性があります。急傾斜地は、特に土砂崩れ等が発生する危険性が高く、また大規模盛り土造成地等も注意が必要となります。

(3) 危険な行為

台風が強いときは、

- 田舎の様子を見に行く
- 海や川の様子を見に行く
- 崖壁等の高所で作業をする

などの行為は大変危険です。絶対にやめましょう！！

3 災害に対する日頃の備えを～あなたは大丈夫？

(1) 「避難スイッチ」

災害との遭遇をいかに具体的に自分自身でイメージできるかが、防災対策の鍵です。常に災害への備えを自分自身でイメージし、「川の水が●●の高さまで増えたら危険」「●●警報が出たら危険」などの判断材料を一人ひとりがあらかじめもっており、そのような場面直面したら「避難スイッチ」を入れて避難するようにしましょう。

(2) 地域の危険な場所や避難経路の確認

日頃から、現在、住んでいる地域で過去に水害や土砂災害の被害がないか確認することも大事です。市町村が作成しているハザードマップやハザードマップポータルサイト等を活用して、災害の個別毎に自宅や住んでいる地域の危険な場所（過去に浸水した場所等）や避難経路を予め把握し、家族と話し合いながら防災行動計画（マイ・タイムライン）を作成して「知る」「気づく」「考える」を習慣づけておくことで、有事の際に的確な行動をとれるようになります。

(3) 備蓄食料等の準備～無敵にならない日常備蓄～

これまでの災害用備蓄は、乾パンや懐中電灯等普段使わない物を用意する特別なことと考えられてきました。しかし、日頃利用している食品や生活必需品を少し多めに購入して、「日常備蓄」ならば比較的簡単に無敵にならない備蓄ができます。

また、子どもや高齢者がいる家庭など家族構成によって、必要なものが変わってきますので、ライフスタイルにあわせて家庭に必要なものを準備しておきましょう。

(4) 家族との連絡手段の確認

災害時に家族が離れ離れになった場合の安否の確認方法を決めておきましょう。電話が通じにくくなることも想定し、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板等複数の連絡手段の確認に努めましょう。

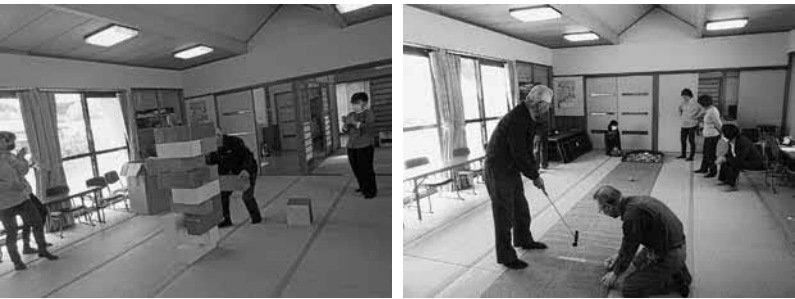
問合せ 山都町警察署・署協議会 ☎ 72-0110
 熊本県警のホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/police/>
 管内の犯罪・交通事故の発生状況、県警からのお知らせなどを掲載中です。

香典返し

山都町社会福祉協議会へ寄附ありがとうございます

いただいた香典返し（寄付金）は地域福祉活動に使わせていただいております。

写真は4月29日に開催された、須原ふれあいサロンの様子です。9名が参加され、サロン活動についての意見交換、大型ジェンガ、スカットボールを楽しまれました。意見交換では、サロン活動の参加率を上げるために様々な意見が挙げられました。レクリエーションでは、ジェンガを高く積み上げたり、スカットボールで点数を競ったりと終始賑やかな雰囲気でした。



町長のまちづくり日記

坂本 靖也

田植えを終えた田んぼが青々と輝き、いよいよ夏秋野菜の出荷が本格的に始まる時期となりました。農繁期の中で忙しい日々が続きますが、一年の豊作を願うところです。

5月には熊本県をはじめ、九州および全国の各種団体において総会が数多く開催され、私も出席しました。

その中で、5月18日に愛知県名古屋市のホテルで開催されました「東海熊本県人会総会」に出席しました。県人会には、山都町出身の方が3名出席されており、親睦を深めるとともに、ふるさとに対する熱い思いをお伺いすることができました。以前は、「中部山都会」にも議会と共に出席していましたが、現在は開催されていません。今後、少ない人数からでも再び「中部山都会」を開催していただきたいとお願いました。

町外在住の方で山都町出身者の

集まりなどがあるようでしたら、「山の都創造課」まで情報提供をお願いします。

6月に入り、梅雨の時期を迎えることから、6月2日、各種団体の皆様にお集まりいただき、防災会議を開催しました。近年は、線状降水帯の発生など局地的に災害をもたらす豪雨が全国各地で発生しています。住民の皆様におかれましても、避難経路や避難場所の確認、防災グッズの準備や日ごろからの備えを行うなど防災対策をお願いします。

熊本県の取り組みのひとつである「よかボス宣言」を行いました。これは、企業や団体のトップが、社員の仕事と結婚や子育て・介護など充実した生活ができるように応援すると宣言するものです。職員の意欲向上は、町の発展にもつながるものと思います。職員がやりがいを持ち、快適な環境で働けるよう、改善に取り組んで参ります。

編集後記

5月は防災フェスタや新茶まつりなど、多くのイベントが開催されました。私も取材で会場に足を運びましたが、たくさんの方の町民の方に声を掛けて頂き本当に嬉しかったです。

今月の広報誌（3ページ）には「未来を築く人」と題して、山都町に関わる方へのインタビュー記事を掲載しました。山都町に対する三浦浩志さんの想いがみなさんに伝わっていれば幸いです。

私もパスレルを利用しますが、三浦さんに教えて頂きながらトレーニングをした翌日はひどい筋肉痛になります！みなさんもトレーニングだけではなく、イベントなどが開催される時にはパスレルに行ってみてくださいね！（穀）

■いつでもスマホで「広報やまと」
 町の広報誌をはじめ、全国の広報誌やイベントなどの情報がスマホで見ることができるアプリです。
 ※広告が表示されますが、各自治体とは関係ありません。



マチイロ

『国保通信』

～国保でホッ!医療費の適正化にご協力を!～

令和7年4月の医療費

162,965,883円

(1人当たり 43,632円)

※医療費は、本人及び保険者(町)の負担金並びに高額療養費の合計です。

問合せ 健康ほけん課 ☎72-1295